



国土交通省中国地方整備局  
山口河川国道事務所  
宇部港湾・空港整備事務所

平成31年3月29日

同時資料提供

山口県政記者クラブ  
山口県政記者会  
山口県政滝町クラブ

お知らせ

国土交通省 中国地方整備局

山口河川国道事務所

宇部港湾・空港整備事務所

平成31年度の予算概要

問い合わせ先

○国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長	(河川)	さかき 阪木	こうじ 浩二	(内線204)
副所長	(道路改築)	いもと 伊本	ひろゆき 浩之	(内線205)
副所長	(道路管理)	ひの 樋野	よしひろ 義周	(内線206)
担当)	計画課長	こだま 児玉	そういちろう 総一郎	(内線261)

電話番号 (0835) 22-1785

○国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所

副所長		さとう 佐藤	りょうじ 良治	(内線10)
担当)	工務課長	しおみ 潮見	こうじ 幸司	(内線15)

電話番号 (0834) 31-0409

山口河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

宇部港湾・空港整備事務所ホームページアドレス

<http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/ube/>

# 目 次

I. 平成 31 年度の主な事業概要	.....	1
II. 平成 31 年度の予算概要	.....	2
1. 配分方針	.....	2
2. 事業概要	.....	3
3. 平成 31 年度の道路調査の見通し	.....	4
4. 主要な施策、事業の概要	.....	5

《平成31年度の主な事業概要》

○河川事業

- ・佐波川<sup>さばがわ</sup>一般河川改修事業は、鈴屋地先<sup>すずや</sup>において堤防整備に伴う睦美橋<sup>むつみ</sup>の架け替えを実施します。
- ・佐波川<sup>さばがわ</sup>総合水系環境整備事業は、整備予定エリアにおいて、河川管理用通路の整備を行います。

○道路事業

- ・長門・俵山<sup>ながと たわらやま</sup>道路は、平成31年度の開通に向け、改良工事、交通安全施設工事等を推進します。
- ・藤生長野<sup>ふじゅうながの</sup>バイパスは、平成31年度に新規事業として、調査設計に着手します。
- ・鳥越<sup>とりごえ</sup>自転車歩行者道整備は、平成31年度に新規事業として、調査設計に着手します。
- ・萩東<sup>はぎひがし</sup>電線共同溝は、平成31年度に新規事業として、調査設計に着手します。

○港湾事業

- ・徳山下松港国際物流ターミナル整備事業は、下松地区において棧橋(水深19m)の本体工事及び徳山地区航路(水深14m)の浚渫工事を推進します。
- ・岩国港臨港道路整備事業は、下部工事等を推進します。
- ・宇部港航路・泊地整備事業は、航路(水深13m)の浚渫工事を推進します。

# 《平成31年度の予算概要》

## 1. 配分方針

- (1) 平成31年度国土交通省関係予算については、「被災地の復旧・復興」、「国民の安全・安心の確保」、「力強く持続的な経済成長の実現」及び「豊かな暮らしの礎となる地域づくり」の4分野に重点化するための経費を計上したところである。特に重要インフラの点検結果等を踏まえた防災・減災、国土強靱化のための緊急対策を集中的に講ずることとしている。
- (2) また、社会資本整備については、既存施設の計画的な維持管理・更新を図りつつ、将来の成長の基盤となり、安全で豊かな国民生活の実現に資する波及効果の大きな政策・プロジェクトを全国各地で戦略的に展開していく必要がある。
- (3) 以上のような点を踏まえ、一般公共事業等予算の配分に当たっては、

- ・「水防災意識社会」の再構築に向けた水害対策や集中豪雨等に対応した総合的な土砂・火山災害対策の推進
- ・将来を見据えたインフラ老朽化対策の推進
- ・地域における総合的な防災・減災対策、老朽化対策等に対する集中的支援(防災・安全交付金)
- ・効率的な物流ネットワークの強化
- ・首都圏空港、国際コンテナ戦略港湾の機能強化
- ・成長の基盤となる社会資本整備の総合的支援(社会資本整備総合交付金)
- ・人口減少等を見据えた「コンパクト・プラス・ネットワーク」の形成
- ・子育て世帯や高齢者世帯が安心して暮らせる住まいの確保

などについて、地域の実情や要望、事業の必要性や緊急性に基づき、配分を行います。

また、山口河川国道事務所及び宇部港湾・空港整備事務所は、以上の方針を念頭に置き、山口県の県づくりを積極的に支援するため、各種事業を推進します。

## 2. 事業概要

### 1)山口河川国道事務所

#### 事業費総括表

(単位:百万円)

事業科目	平成31年度	平成30年度	対前年度比
河川関係			
一般河川改修事業	715	266	2.69
総合水系環境整備事業	74	18	4.03
小計	789	284	2.77
道路関係			
改築	9,924	9,890	1.00
交通安全(I種事業)	1,464	1,368	1.07
電線共同溝	302	770	0.39
小計	11,690	12,028	0.97
事務所計	12,479	12,312	1.01

注. 事業費はいずれも年度当初予算額である。

改築は、「岩国・大竹道路」(広島県分)は含まれていない。

一般河川改修事業は、小瀬川(山口県分)は含まれていない

維持管理に関する予算は含まれていない。

### 2)宇部港湾・空港整備事務所

#### 事業費総括表

(単位:百万円)

事業科目	平成31年度	平成30年度	対前年度比
港湾関係			
【国際拠点港湾】			
徳山下松港	4,806	3,300	1.46
【重要港湾】			
岩国港	970	950	1.02
宇部港	850	1,250	0.68
【地方港湾】			
油谷港	54	51	1.06
事務所計	6,680	5,551	1.20

注. 下関市域分は含まれていない。

事業費はいずれも年度当初予算である。

### 3. 平成31年度の道路調査の見通し【山口県】

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。  
 主な調査箇所は、下記の通りです。

#### 【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

山口県 山陰道 <sup>おおい</sup>大井<sup>はぎ</sup>～萩  
 山口県 国道188号 <sup>やない</sup>柳井<sup>ひらお</sup>・平生バイパス  
 ※調査が進捗した後に、都市計画変更手続きに着手予定。

概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

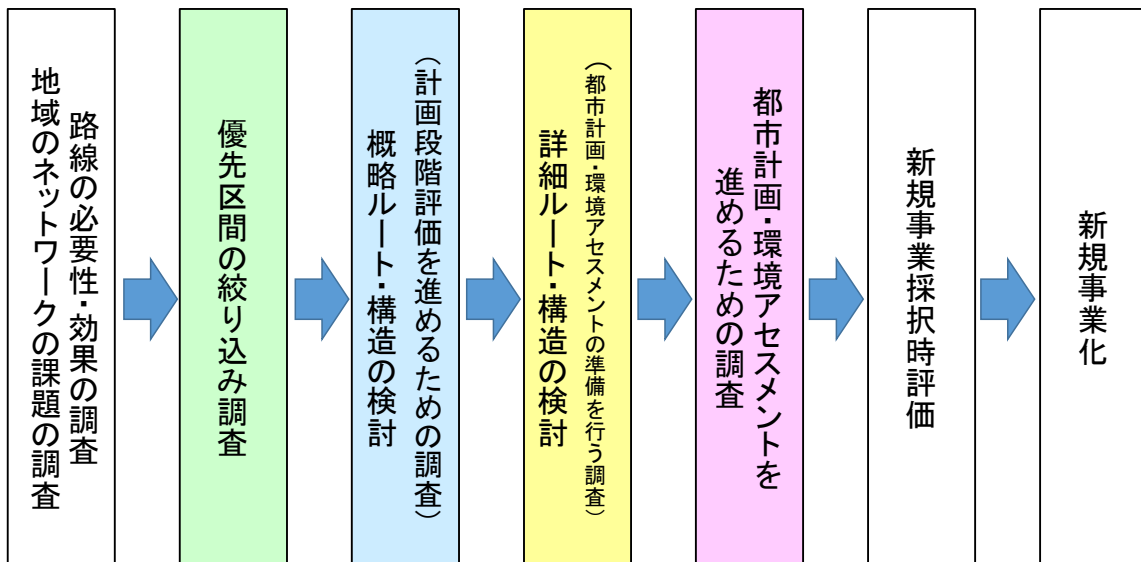
島根県・山口県 山陰道 <sup>すこ</sup>須子<sup>たまがわ</sup>～田万川  
 山口県 山陰道 <sup>みすみ</sup>三隅<sup>ながと</sup>～長門

しものせききたきゅうしゅう  
 下関北九州道路については、山口県及び福岡県と協力しつつ、直轄調査に着手します。  
 下関都市圏及びその周辺部については、広域的な幹線道路ネットワークの機能強化等  
 に係る調査を実施します。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

#### <道路調査の流れ>



#### 4. 主要な施策、事業の概要

##### 1)河川事業

事業名	平成 31 年度の概要	備考
佐波川一般河川改修事業 奈美地区堤防パワーアップ対策事業	鈴屋地先において堤防整備に伴う睦美橋の架け替えを実施します。	資料- 1
佐波川総合水系環境整備事業 佐波川の利活用促進を図る水辺整備	整備予定エリアにおいて、河川管理用通路の整備を行います。	資料- 2

##### 2)道路事業

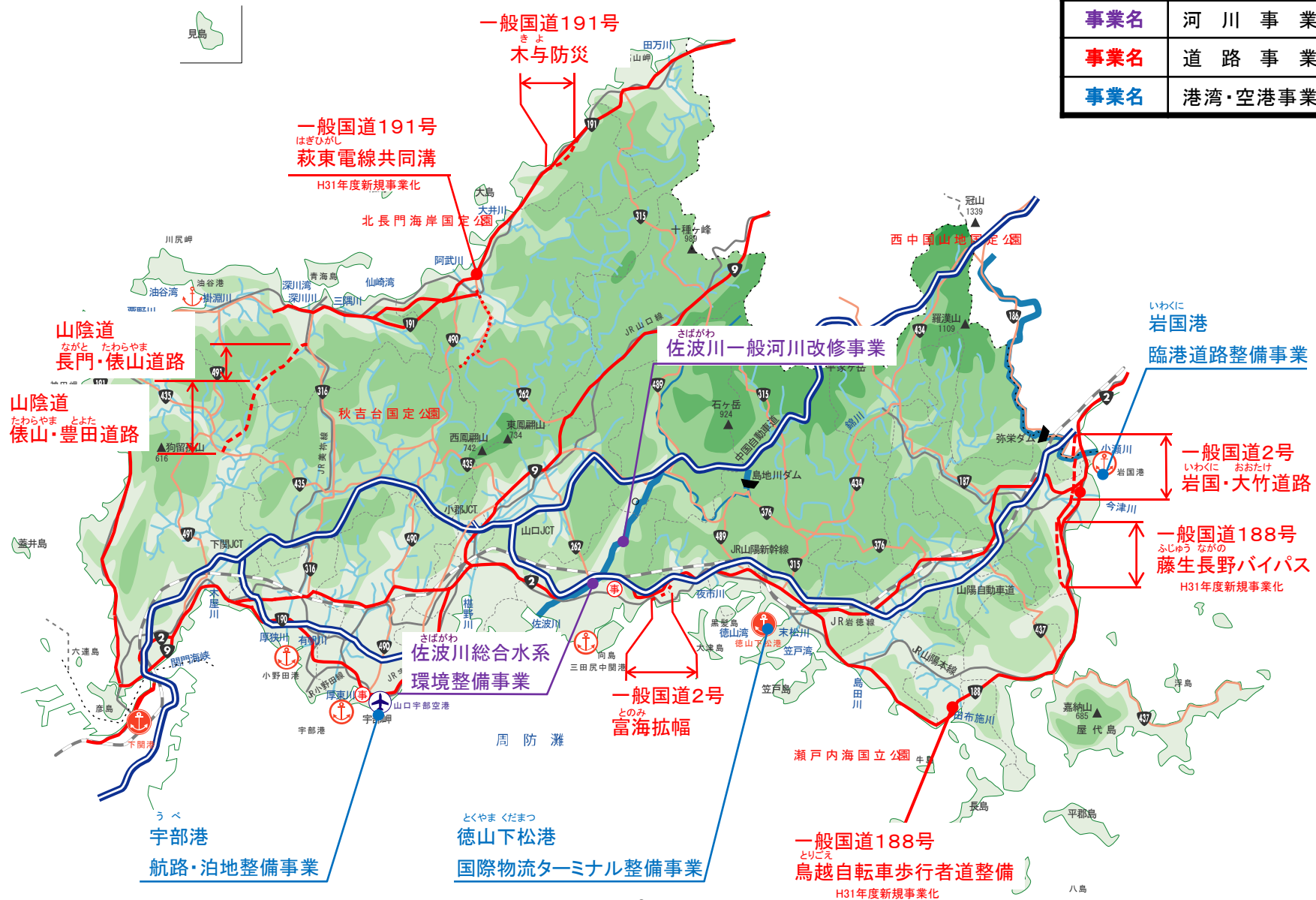
事業名	平成 31 年度の概要	備考
一般国道2号 岩国・大竹道路	調査設計、改良工事等を推進します。	資料- 3
一般国道2号 富海拡幅	橋梁工事、改良工事を推進します。	資料- 4
一般国道188号 藤生長野バイパス	調査設計に着手します。	資料- 5
山陰道 長門・俵山道路、 俵山・豊田道路	長門・俵山道路は、平成31年度の開通に向け、改良工事、交通安全施設工事等を推進します。 俵山・豊田道路は、用地買収、調査設計を推進し、平成31年度に工事に着手します。	資料- 6
一般国道191号 木与防災	調査設計、用地買収等を推進し、平成31年度に改良工事に着手します。	資料- 7
一般国道188号 鳥越自転車歩行者道整備	調査設計に着手します。	資料- 8
一般国道191号 萩東電線共同溝	調査設計に着手します。	資料- 9
トラック・バス渋滞ポイントにおける対策	山口県内では一般国道9号唐戸交差点において渋滞対策を実施します。	資料- 10

##### 3)港湾事業

事業名	平成 31 年度の概要	備考
国際拠点港湾 徳山下松港 国際物流ターミナル整備事業	栈橋本体工事、浚渫工事等を推進します。	資料- 11
重要港湾 岩国港臨港道路整備事業	下部工事等を推進します。	資料- 12
重要港湾 宇部港航路・泊地整備事業	浚渫工事を推進します。	資料- 13

# 主要事業箇所【山口県】

凡 例	
事業名	河川事業
事業名	道路事業
事業名	港湾・空港事業





さ ば が わ  
**佐波川一般河川改修事業**  
**奈美地区堤防パワーアップ対策事業**

事業費715百万円

**資料-1**

※佐波川水系全体

**事業推進**

**1. 事業の必要性及び概要**

佐波川の鈴屋地先は、堤防がない箇所や堤防の高さや幅が不足している箇所が存在しており、昭和47年7月洪水や平成21年7月洪水により、家屋の浸水被害が発生しています。

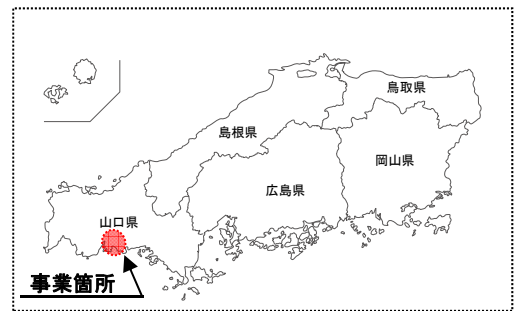
このため、平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ、堤防整備や橋梁の架け替え等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。

**2. 事業箇所**

山口県防府市鈴屋地先

**3. 平成31年度 予定事業内容**

佐波川鈴屋地先において堤防整備に伴う睦美橋の架け替えを実施します。



**4. 期待される整備効果**

堤防整備等を実施することで、河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水(戦後第2位の洪水)が再び発生した場合において、周辺地域の家屋浸水被害の防止を図ります。

# 佐波川総合水系環境整備事業 佐波川の利活用促進を図る水辺整備

事業費73.8百万円

資料-2

※佐波川水系全体

## 1. 事業の必要性及び概要

**事業推進**

防府市は、佐波川や歴史的な街道を「重要景観軸」と位置づけ、それらを介した地域や人とのつながりの形成を進めており、佐波川を訪れる方への案内看板や休憩施設等を設置する予定としています。国土交通省と防府市で連携して、河川管理用通路や彩り豊かな植栽を整備し、佐波川自転車道等と結ぶことで、散策やサイクリング等の利用を促進するとともに、高水敷等の整備により、水辺利用の促進を図ります。

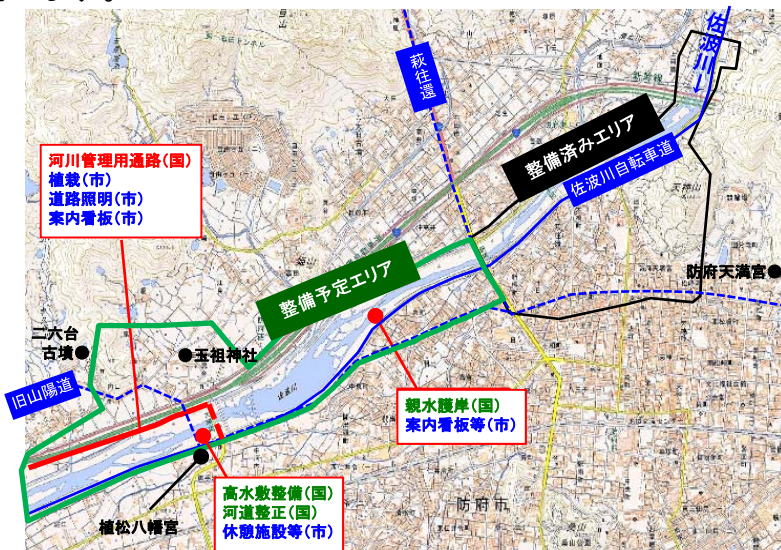
## 2. 事業箇所

山口県防府市新橋町地先 外



## 3. 平成31年度 予定事業内容

整備予定エリアにおいて、河川管理用通路の整備を行います。



～主な整備内容(国)～



河川管理用通路と植栽の整備イメージ



親水護岸と河道整正の整備イメージ

～施設の利用状況～



河川管理用通路の利用状況



佐波川自転車道の利用状況



高水敷整備後の利用イメージ

## 4. 期待される整備効果

新たな河川管理用通路や高水敷、植栽等を整備することで、散策やサイクリング等の利用者の増加や水辺利用の促進が期待されます。

# 一般国道2号 岩国・大竹道路

事業費2,849百万円  
(広島県1,439百万円 山口県1,410百万円)

資料-3

## 事業推進

### 1. 事業の必要性及び概要

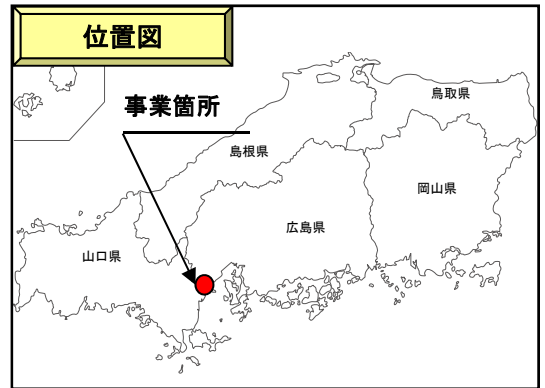
一般国道2号岩国・大竹道路は、交通混雑の緩和及び交通安全の確保、広島県と山口県の広域的な連携・交流を目的とした、広島県大竹市小方一丁目から山口県岩国市山手町に至る延長9.8kmの道路です。

### 2. 事業箇所

広島県大竹市小方一丁目～山口県岩国市山手町

### 3. 平成31年度 予定事業内容

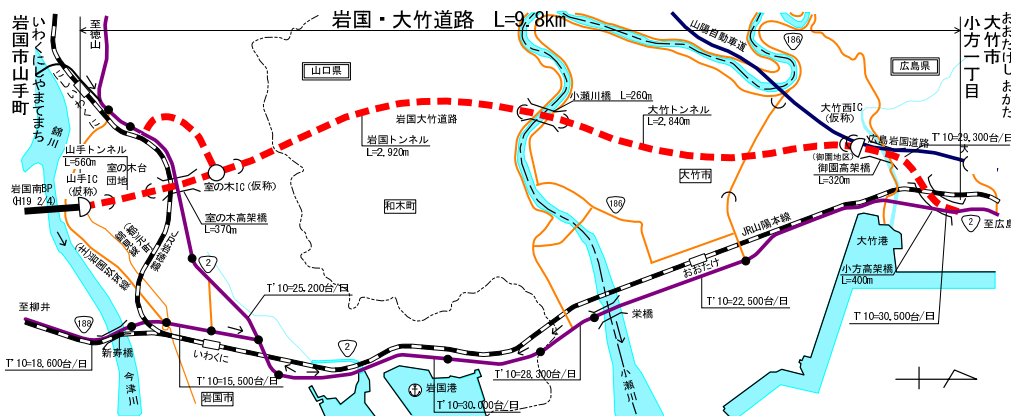
調査設計、改良工事等を推進します。



信号交差点が連続する大竹市街の道路状況



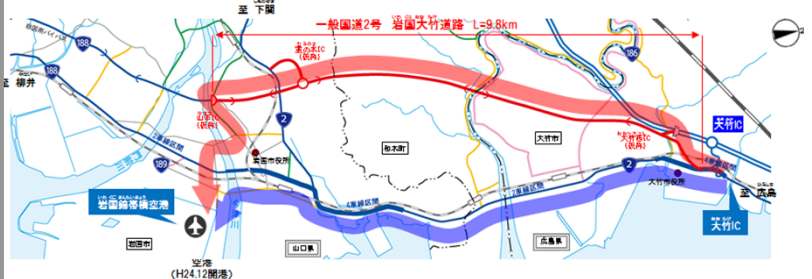
岩国新港地区(渋滞状況)



### 期待される整備効果

#### ●所要時間の短縮

広島方面から岩国錦帯橋空港への**定時性および利便性の向上**が期待されます。



※現況所要時間は民間プローブデータ(H25.4~H25.8平日)  
整備後所要時間は岩国・大竹道路V=70km/h(起点~室の木IC)、60km/h(室の木IC~山手IC)、H22道路交通センサス旅行速度で設定。

**事業推進**

1. 事業の必要性及び概要

とのみ 富海拡幅は山口県周南市～防府市間における交通混雑の緩和を図るとともに交通事故の削減、地域経済の活性化を目的とした延長3.6kmの道路です。

2. 事業箇所

しゅうなん へた ほうふ とのみ  
山口県周南市戸田～防府市富海

3. 平成31年度予定事業内容

橋梁工事、改良工事を推進します。



写真① 現在の改良工事進捗状況 (防府市街方面から周南市方面を望む)



写真② 現在の橋梁工事進捗状況 (周南市方面から防府市街方面を望む)

4. 期待される整備効果

■産業活動の活性化

- ・防府市の工場集積地域内では平成30年3月に新たな工業団地の造成工事が起工され、今後事業所の進出や雇用の創出が見込まれています。
- ・富海拡幅の4車線化による利便性向上により、生産性の高い物流ネットワークを構築し周辺地域をはじめとする産業活動の活性化、効率化が期待できます。



1. 事業の必要性及び概要

ふじゅう ながの  
藤生長野バイパスは、交通事故の減少及び災害等に強い道路ネットワークを確保、岩国市付近の工業団地と岩国港等とのアクセス性向上を目的とした延長7.6kmの道路です。

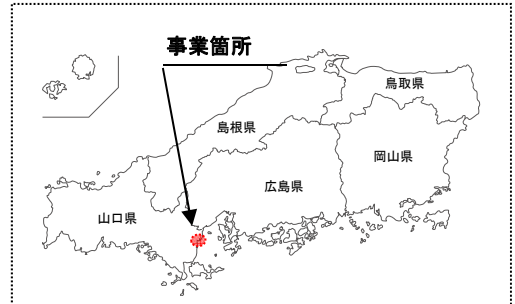
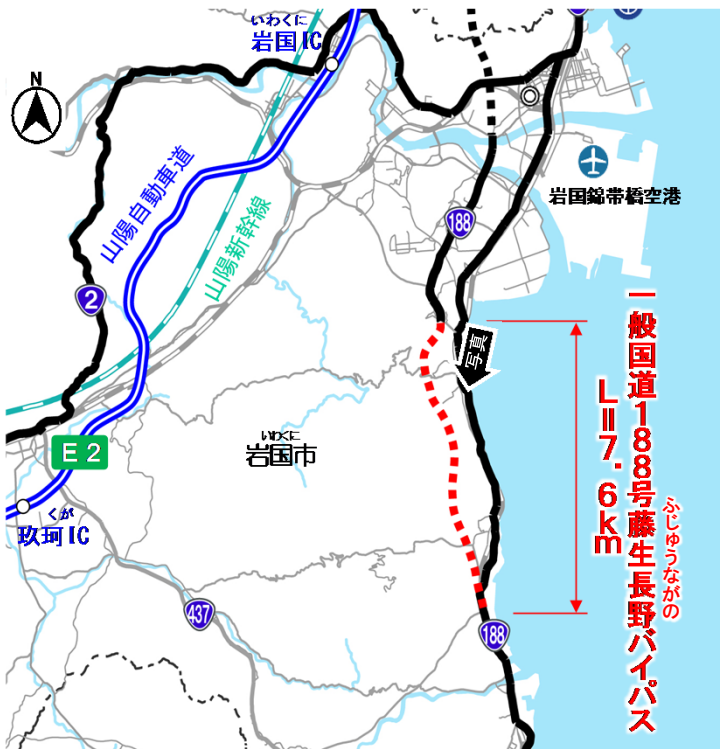
**新規事業化**

2. 事業箇所

山口県岩国市藤生町～岩国市長野

3. 平成31年度 予定事業内容

調査設計に着手します。



▲写真 交通事故発生状況

発生日	発生時間	規制時間	事故類型
H26.7.27	15:54	0:51	出会い頭衝突
H26.12.11	18:10	0:43	正面衝突
H27.12.20	13:14	0:40	正面衝突
H28.5.23	21:26	2:38	正面衝突
H28.11.24	7:32	3:43	単独事故
H28.12.9	8:32	1:17	衝突事故
H29.3.4	19:29	0:53	歩行者と接触
H29.4.17	11:37	1:18	単独事故
H29.4.28	16:25	0:25	二輪車と接触
合計		12:28	

▲一般国道188号の通行止め事故発生状況(H26以降)

4. 期待される整備効果

○バイパス整備により、現道の渋滞緩和、事故減少、災害に強い道路ネットワークが確保され、住民生活や物流活動を支援します。



1. 事業の必要性及び概要

**事業推進(長門・俵山道路開通)**

山陰道 長門・俵山道路、俵山・豊田道路は、一般国道491号や主要地方道 下関長門線等の事前通行規制区間等の回避、広域観光連携の強化、第3次救急医療機関へのアクセス改善を目的とした、延長19.4kmの自動車専用道路です。

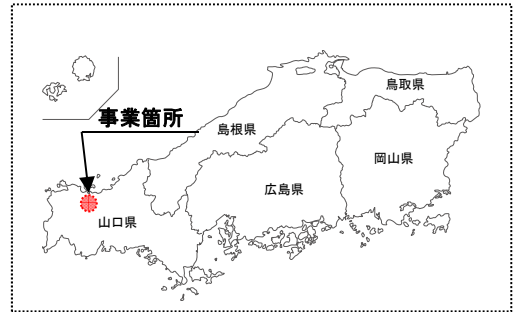
2. 事業箇所

山口県下関市豊田町八道～長門市深川湯本

3. 平成31年度 予定事業内容

長門・俵山道路は、平成31年度の開通に向け、改良工事、交通安全施設工事等を推進します。

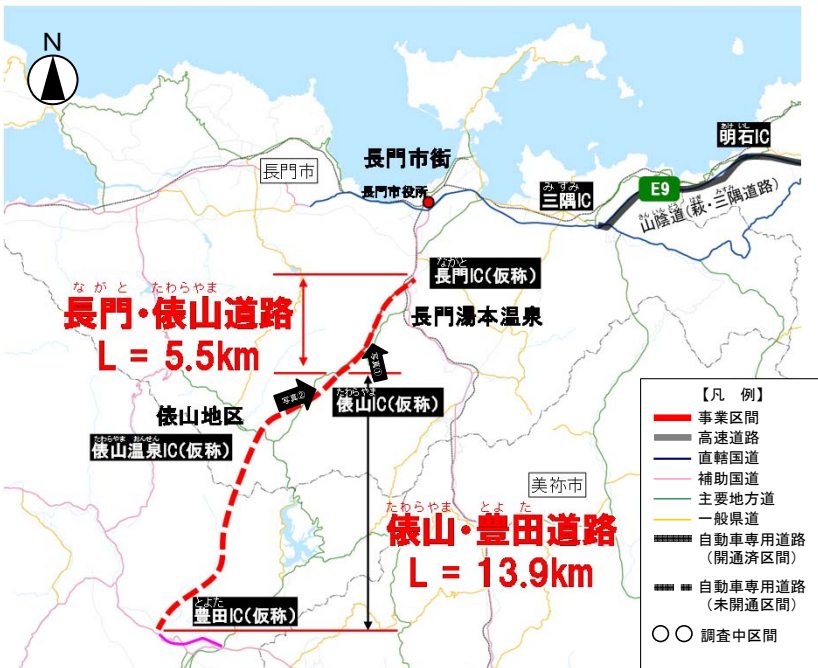
俵山・豊田道路は、用地買収、調査設計を推進し、平成31年度に工事に着手します。



写真① 俵山小原地区 事業進捗状況

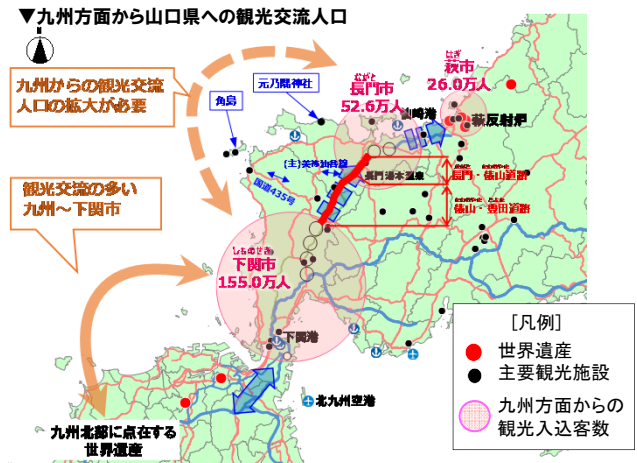


写真② 柿木原地区 事業進捗状況



4. 期待される整備効果

○長門・俵山道路、俵山・豊田道路の整備によって、観光地間が高速ネットワーク化され、九州から山口県北部への観光交流人口の拡大が期待



※資料/山口県観光振興課調べ (H29山口県観光客動態調査より)  
 ※主要観光施設は下関市、長門市、萩市、美祢市、宇部市、山口市に立地する観光施設のうち年間入込客数10万人以上のみプロット

## 1. 事業の必要性及び概要

## 事業推進

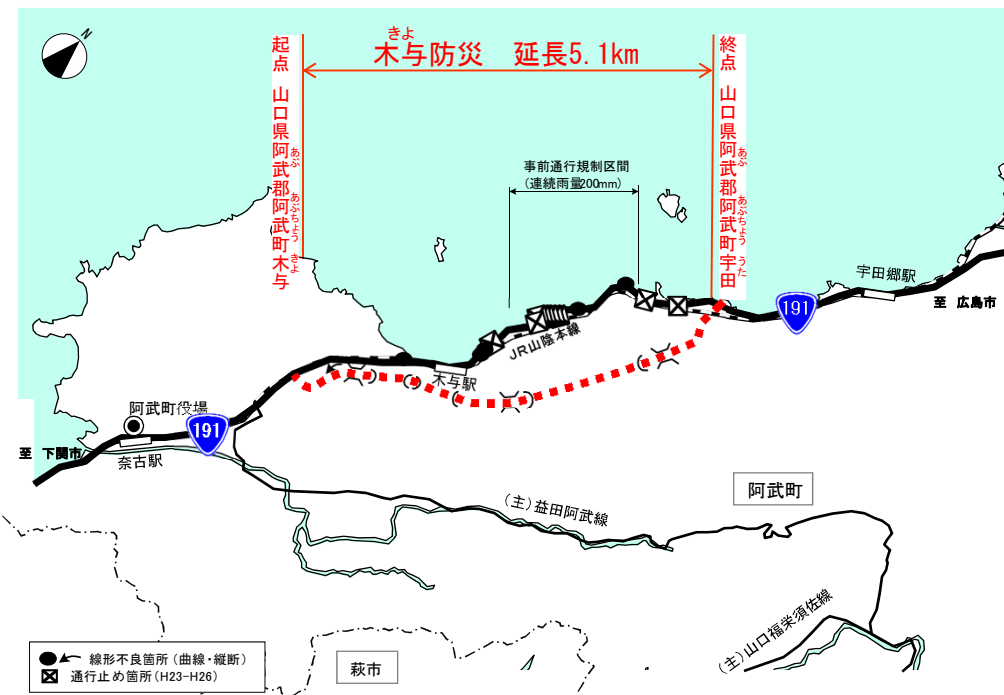
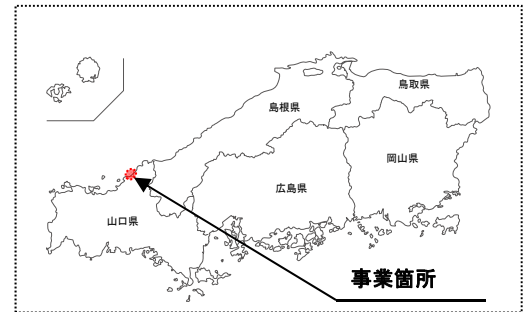
木与防災は、国道191号の事前通行規制区間を回避し、緊急時の代替路を確保することを目的とした延長5.1kmの道路です。

## 2. 事業箇所

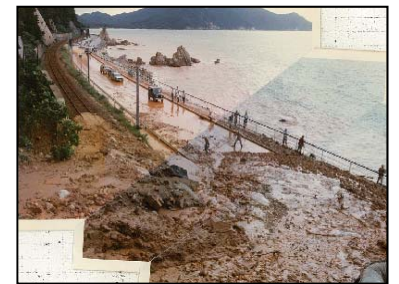
山口県阿武郡阿武町木与～阿武郡阿武町宇田

## 3. 平成31年度 予定事業内容

調査設計、用地買収等を推進し、平成31年度に改良工事に着手します。



【写真①H23年土砂崩壊の状況】



【写真②S55年土砂崩壊の状況】

## 4. 期待される整備効果

### ■地域の安心安全を確保

○国道191号の事前通行規制区間を回避することにより、災害時の代替路確保し、地域の安全安心を確保します。

### ■産業を活性化

○木与防災を整備することにより、定時性、確実性が確保でき、物流活動を支援します。

発生年度	件数	概要	全面通行止め時間
H21	1	事前通行規制	47時間(2.0日)
H22	1	土砂流出	153時間(6.4日)
H23	3	事前通行規制	187時間(7.8日)
H24	1	事前通行規制	9時間(0.4日)
H25	2	事前通行規制	35時間(1.5日)
H26	1	事前通行規制	16時間(0.7日)
合計	9	-	約447時間(約19日)

表1 国道191号木与地区の災害等による通行止め履歴(H18～H27)

# 一般国道188号 鳥越自転車歩行者道整備

資料-8

事業費21百万円

新規事業化

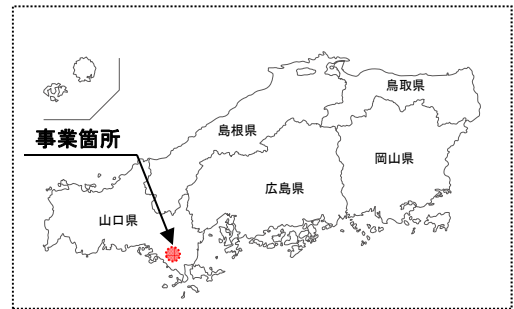
## 1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、近隣に麻郷小学校や田布施中学校が立地し通学路に指定されているものの、歩道が未整備または狭小幅員のため、通学中の児童は幅広路肩を通行しており非常に危険な状況となっています。

鳥越自転車歩行者道整備は、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うために、自転車歩行者道の整備を行うものです。

## 2. 事業箇所

山口県田布施町麻郷



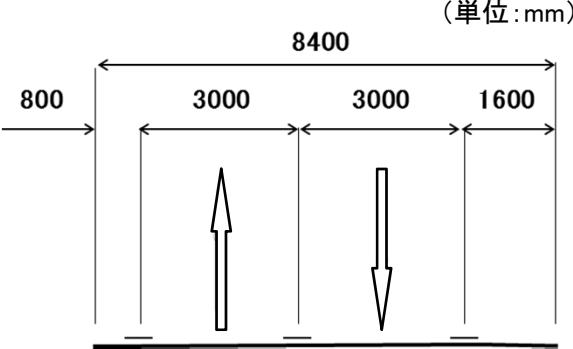
## 3. 平成31年度 予定事業内容

調査設計に着手します。

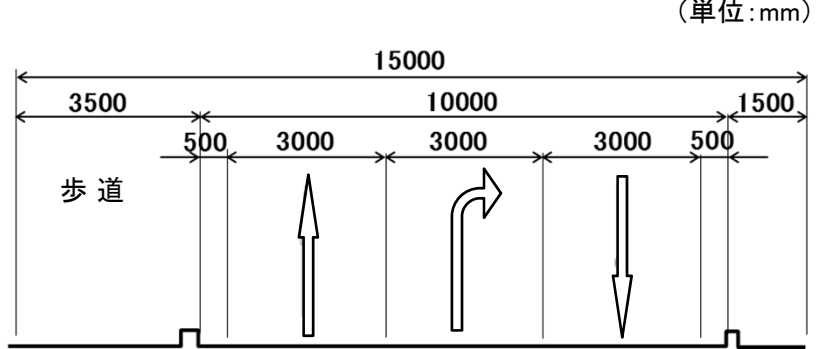


写真① 児童の通学状況

【現況断面】



【計画断面】





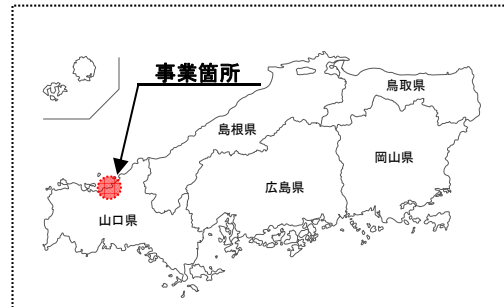
新規事業化

1. 事業の必要性及び概要

<sup>はぎひがし</sup> 萩東電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、世界文化遺産の各資産を結ぶ路線の良好な景観を確保し、魅力ある観光地形成の支援を目的とした事業です。

2. 事業箇所

<sup>はぎし ひじわら</sup>  
山口県萩市土原地内



3. 平成31年度予定事業内容

調査設計に着手します。



出典：国土地理院地図を基に作成

《整備の必要性(イメージ写真)》

○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。



＜電柱の倒壊による道路閉塞の事例＞

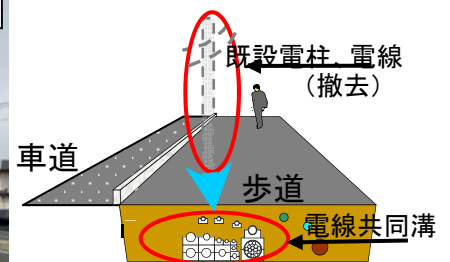


＜歩行の支障となる電柱の事例＞

《現地状況》



《イメージ図》



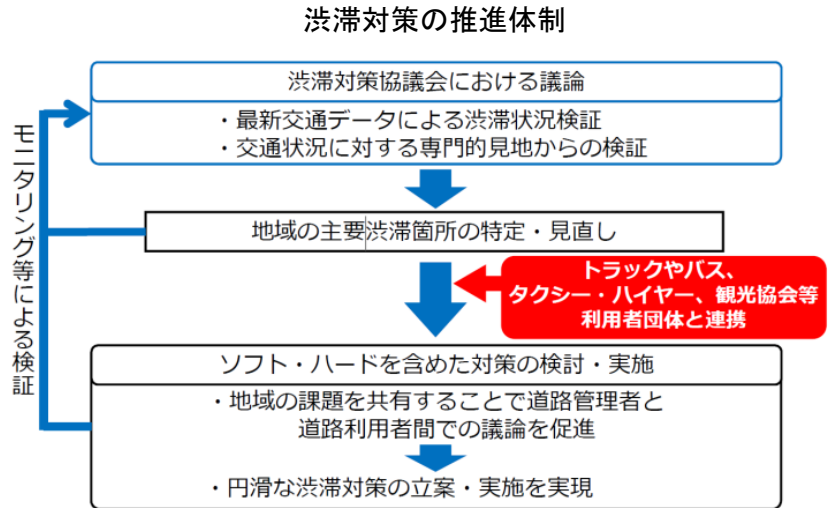
4. 期待される整備効果

・道路上から電柱や電線がなくなることにより、安全で快適な歩行空間の確保が図られ、震災時の電柱倒壊による通行止めの心配がなくなるため道路の防災性が向上します。また、世界遺産都市の良好な景観を確保することで、魅力ある観光地の形成が期待されます。

### 1. 事業の概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体が連携を強化し、利用者の視点で渋滞箇所を特定した上で、速効対策を実施する取り組みを全国で推進します。



### 2. 主な事業箇所・事業内容

くたい どうろ  
国道29号国体道路交差点  
(鳥取県 鳥取市)



至 姫路市

<<右折レーンの延伸を予定>>

わたりはしまた  
国道9号渡橋北交差点  
(島根県 出雲市)



至 松江市

<<直進レーンの延伸を予定>>

からと  
国道9号唐戸交差点  
(山口県 下関市)



至 下関駅

至 広島市

<<路面標示の見直しを予定>>

にしのはま  
国道2号西ノ浜交差点  
(岡山県 笠岡市)



至 橋山市

<<右折レーンの延伸を予定>>

ふくやまゆう びんきょくまえ  
国道2号福山郵便局前交差点  
(広島県 福山市)



至 笠岡市

至 広島市

<<右折レーンの延伸を予定>>

## 事業推進

## 1. 事業の必要性及び概要

徳山下松港は背後に基礎素材型産業が集積しており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に宇部港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

石炭を海外から直接輸入する企業は独自に石炭を調達しているところであるが、各社が利用するそれぞれの既存ターミナルは、大型石炭運搬船に対応しておらず、積荷調整による非効率な輸送を余儀なくされている状況にあり、大型石炭運搬船による効率的な輸送体制の確立が課題となっています。

このため、下松地区、徳山地区および新南陽地区において、国際物流ターミナルの整備を推進します。

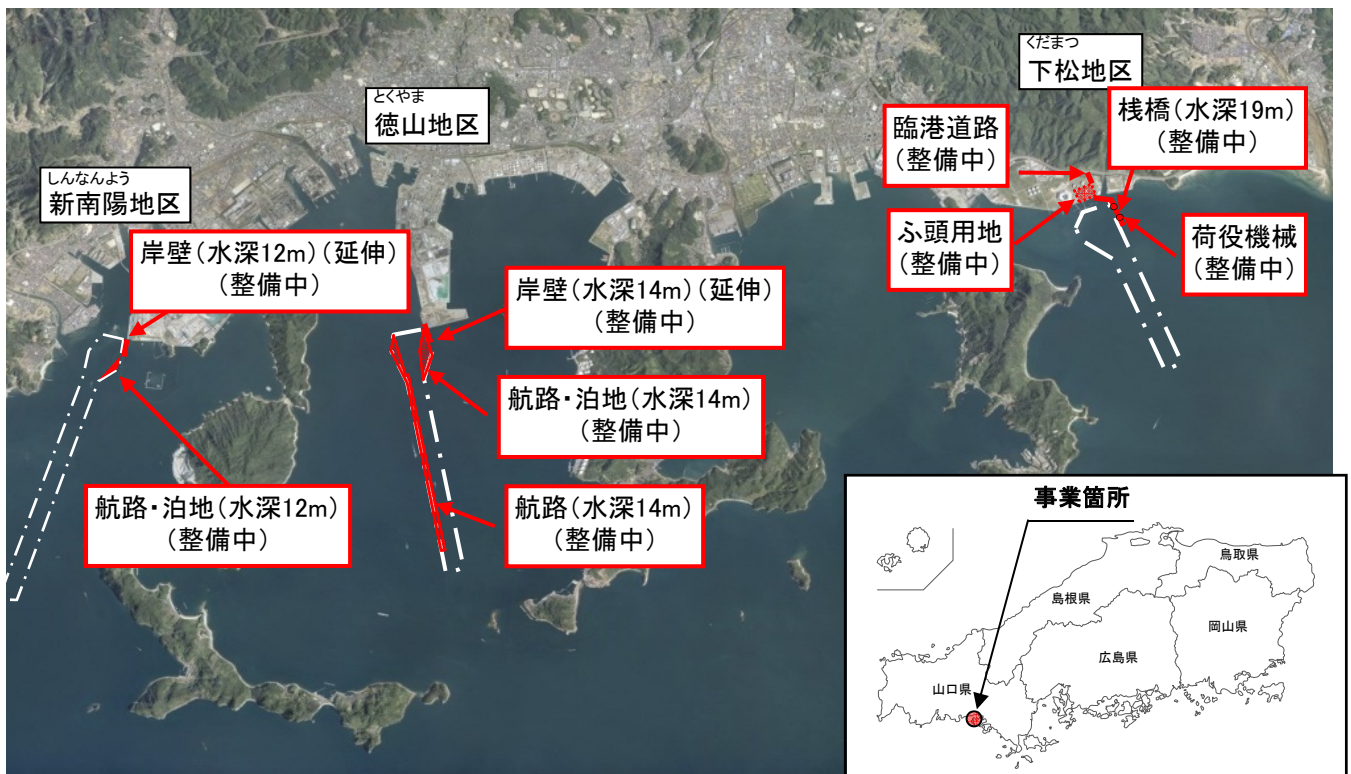
## 2. 事業箇所

しゅうなん くだまつ

山口県周南市、下松市

## 3. 平成31年度 予定事業内容

下松地区棧橋(水深19m)の本体工事及び徳山地区航路(水深14m)の浚渫工事を推進します。



## 4. 期待される整備効果

本事業により、企業間連携による大型石炭運搬船を活用した共同輸送の進展への対応が可能となり、地域産業の安定・発展や国際競争力の強化が図られるとともに、西日本地域の石炭輸入拠点となることにより、石炭の安定的かつ安価な輸送の実現に寄与します。

## 事業推進

### 1. 事業の必要性及び概要

岩国港は、石油化学コンビナート等を有する工業港であるとともに、国際コンテナ貨物の取扱港として地域経済を支える重要な役割を担う港です。

しかし、同港内のふ頭間を結ぶアクセスルートがないため、同港背後企業から発生する港湾関連車両は、慢性的に混雑している国道2号を利用せざるを得ず、非効率な輸送形態となっています。また、室の木地区から発生する港湾関連車両は、生活道路を通行せざるを得ないことから、周辺的生活環境の改善が課題となっています。

このため、港湾貨物の輸送円滑化を図るため、臨港道路の整備を推進します。

### 2. 事業箇所

山口県岩国市

### 3. 平成31年度 予定事業内容

臨港道路の下部工事等を推進します。



### 4. 期待される整備効果

本事業より、ふ頭間の臨港交通ネットワークの構築による物流効率化を通じて、背後企業の国際競争力強化に寄与します。また、生活道路を通行していた港湾関連車両の通行ルートが新たに確保されることにより、生活環境の改善に資することが期待されます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

宇部港は、背後に集積する基礎素材型産業を支える工業港として重要な役割を担っており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に徳山下松港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、航路が水深11mでの暫定供用となっているため、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

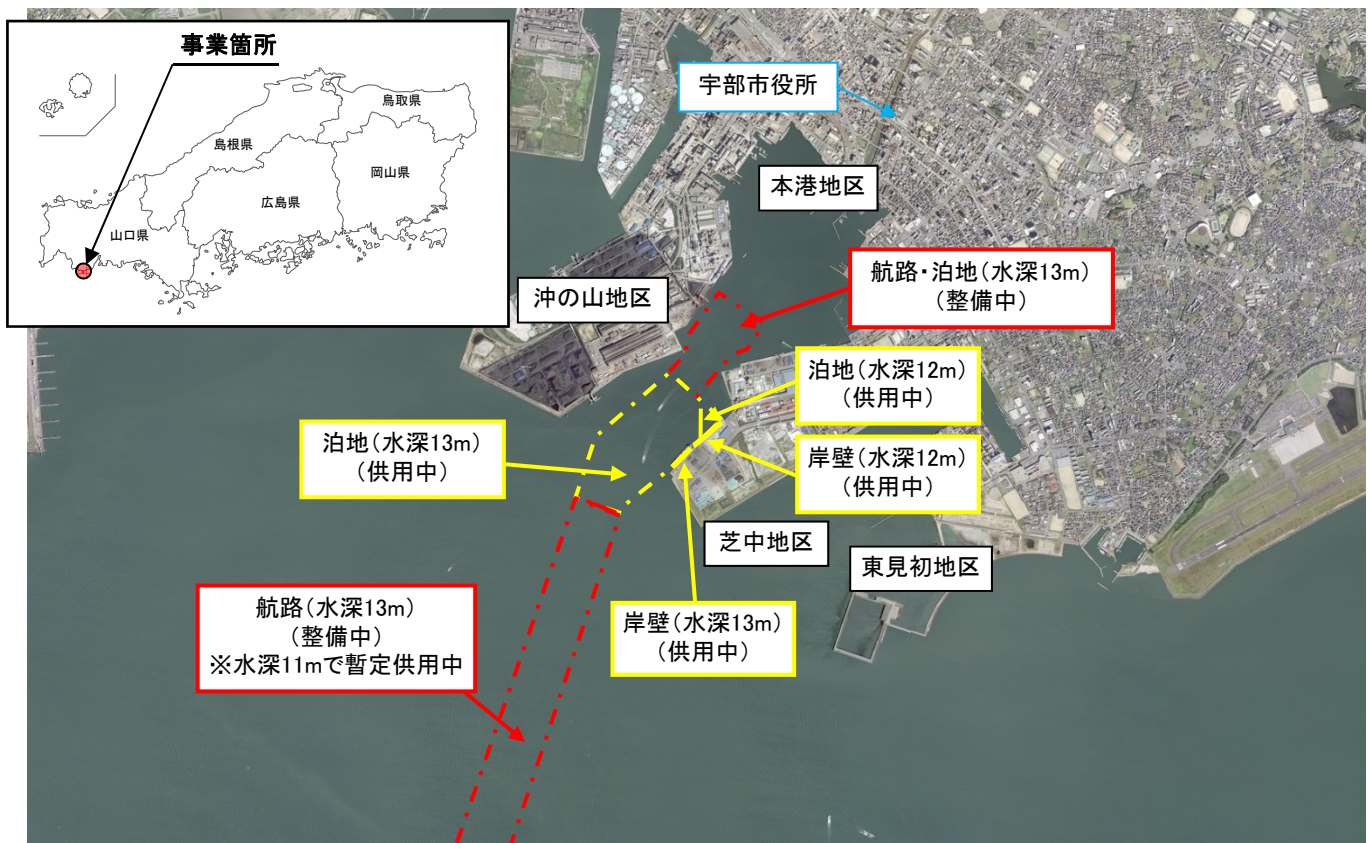
このため、大型貨物船による効率的な輸送に対応するため、水深13mの航路整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県宇部市

3. 平成31年度 予定事業内容

航路(水深13m)の浚渫工事を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、大型貨物船の満載による効率的な輸送が可能となり、物流コストが削減され、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。